

石けんの消火剤、山火事をくい止める！

～インドネシアの森林火災に北九州の企業が挑む～

国際協力機構(JICA)は「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」においてシャボン玉石けん株式会社(福岡県北九州市、森田隼人代表取締役社長)が提案する「森林火災防止に関する初期消火技術の導入案件化調査」(インドネシア)を採択しました。

森林減少が著しい国の一つであるインドネシアでは、年間およそ498,000haの森林が消失していると言われており、その原因の一つである森林火災が深刻な社会問題となっています。火災による森林の消失のみならず、発生した煙による煙害の影響は近隣国も含め広域に及んでいます。

同社が開発した「環境配慮型石けん系泡消火剤」は、高い発泡性と泡の安定性によって優れた消火性能をもつ他、従来の消火剤とちがい生分解しやすい上、少量の水で消火が可能等、環境にやさしい製品であることが特長です。今回は特に初期消火活動に着目し、インドネシア政府も注目する本泡消火剤の現地試験や活用可能性の調査を行います。



消火実験の様子



泥炭火災

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2015年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。120件の応募のうち34件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2015年度第2回公示の採択結果について

URL: <http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州国際センター 担当:土屋 TEL 093-671-8204

JICA国内事業部中小企業支援調査課 水谷(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp